

地域交流会への参加お礼と優楽からのご報告

令和 1 年 10 月吉日

やすらぎの杜 優楽

地域交流会「笑顔で暮らそう～老いと介護とあなたとわたし～」に多数ご参加いただき誠にありがとうございました。私たちも地域のみなさまと交流の機会を得ることができ大変喜んでおります。みなさまからのアンケートのご回答やご意見を今後の運営方針にいかし、地域のみなさまに選んでいただける施設、また喜んでいただける施設を目指し、今後も一生懸命に努力いたします。

アンケート結果

1、50代～80代以上の参加者人数 81人/92人(88%)

自らの老いや介護することへの意識や関心度が高い方が多いと思われる。

2、身内の介護の経験者 58人/92人(63%)

介護する方にはわからないことや不安がいっぱい。

- ・介護することの大変さ(身体的、精神的、経済的)をわかってもらいたい。
- ・どのようにすれば、介護者がゆっくりする時間をもてるのか。
- ・介護者が仕事と介護を両立するためには。方法や相談窓口を教えてください。

3、笑い介護に対する関心度の高さ 79人/92人(86%)

歳を重ねても、介護をする立場にたっても「笑い」を忘れず、心のゆとりをもつことが大切。

参加者のご意見

- ・家内がやる気をなくして寝てばかり。やる気を持たすにはどうしたらよいか。
- ・笑いが日々の生活に役立つことがわかった。
- ・健康長寿を目指して日々楽しみながら自分らしい努力をしていきたいと思いました。
- ・笑うことは大切だと思った。自然と楽しいと思うことができた。
- ・笑うことがまわりをたいへん和ませることが参考になった。
- ・自分は笑いを含め、心からの介護ができていますか。

やすらぎの杜優楽が、今後、取り組まなければならないこと

高齢になっても、通所リハビリ、ショートステイ、入所リハビリなど、介護保険サービスを通じて、ご自宅で暮らし続けたいという気持ちを持ち続けていただけるよう、また、介護者の方の身体的・精神的な休養、仕事と介護の両立が可能となるよう支援していきたいと考えております。

ご家族、介護する方の心の負担が少しでも軽くなり、みなさまに、「笑いのある暮らし」へのお力添えができるよう一緒に語り合ひましょう。